

— ごあいさつ —



北部市民サービスセンター  
所 長 越 後 谷 優

本年度4月に北部市民サービスセンター所長を拝命しました越後谷でございます。日頃より当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。また、センターの管理運営につきまして多大なご尽力をいただきありがとうございます。北部地域住民自治協議会の皆様方に、改めて深く感謝申し上げます。

さて、数年に渡る新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制がこの春に緩和され、当センターをご利用されている皆様の活発な活動を目の当たりにする毎日に安堵を覚えていた矢先の、7月中旬の豪雨災害はまさに寝耳に水の出来事であり、被災当日より当センターも市内避難所の1箇所としての運営が続きました。多いときは和室全室と、さらに洋室の多くを避難場所として開放し、多くの避難されてきた方々への対応に当たりました。被災された皆様へ改めて心からお見舞い申し上げますとともに、避難所運営の間、貸館の一部中止などでご不便をおかけしましたことをお詫びいたします。

しかしながら、そのような状況乗り越え土崎港曳山まつりも無事に行われ、当センターにおいても、様々な団体の皆様方の活動が再び従来どおり行われてきております。この先もコロナや豪雨といった今までの日常と異なるレベルの事案が発生することも想定されますが、行政として速やかに地域の皆様の安全確保のための対応に努めるとともに、今後も地域コミュニティ活動の拠点として、地域の発展、賑わいづくりのために当センターが十分お役に立てるよう、私も皆様と連携してまいりたいと考えております。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和5・6年度 北部地域住民自治協議会 理事名簿

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	渡 邊 清 明		越 中 谷 永 一	常 任 理 事	根 布 谷 義 雄
副 会 長	草 薨 光		川 辺 健 一		安 田 文 一
副 会 長	伊 藤 勉	常 任 理 事	加 賀 谷 毅	常 任 理 事	船 川 春 夫
常 任 理 事	藤 原 正 三	常 任 理 事	中 村 茂		阿 部 幸 子
	佐 藤 サツ子		佐 藤 博 幸		
常 任 理 事	三 浦 吉 壽		山 本 喜 昭		
	中 嶋 庄 悦		木 村 俊 之		
常 任 理 事	佐 藤 清		小 熊 正 英		
	安 藤 正 之	監 事	川 口 洋 一		
	船 山 齊		照 井 巳 千 生		
	船 木 孝 治		加 賀 谷 正 実		
監 事	瀬 浪 幸 雄	常 任 理 事	佐 藤 和 夫		

事務局より

令和5年3月、五城目町の  
大石様より、アップライトピアノを  
寄贈していただきました。音楽  
室にて大切に使用していただ  
きます。ありがとうございました。





# 第11回キタスカまつり

地域文化ホール

令和5年9月30日(土)、10月1日(日)  
延べ来館者数 1,934人

## 秋田万歳公演 9月30日(土) 10:30~12:00

「秋田万歳」とは、秋田に伝わる祝福芸能の一種で、かつては正月に各家を回り、芸を披露していました。現在は秋田万歳を継承する方々によって、様々な場所で公演が執り行われています。

今回は「秋田万歳継承会」の皆様による公演となりました。「太夫」と「才蔵」による息の合った掛け合いや「秋田音頭」などを披露いただきました。秋田万歳継承会の皆様、ありがとうございました。



## 大黒 舞 歌謡ショー 9月30日(土) 13:30~15:00



「唄う駅長」の愛称を持つ秋田県出身の歌手、大黒舞(おおぐろまい)さんによる歌謡ショーが行われました。開場時間の30分前から、地域文化ホール前には行列ができるほどの盛況ぶりとなりました。

大黒さんのオリジナル曲である「おんな北前船」や、昭和時代の懐メロを歌っていただきましたが、艶やかで伸びのある歌声が、会場の皆様のハートをがっちり掴んでいました。また、実の姉弟である安田文一さんや、観客の方々との掛け合いは、常に明るく楽しい雰囲気が流れていました。歌唱のみならず、大黒さんの人柄にも会場が魅了された1時間半となりました。



## ダンスパーティ 9月30日(土) 18:00~20:15

キタスカまつりの夜を彩るダンスパーティが、4年ぶりに開催されました。キタスカで日々活動しているサークルの方々や、ダンスパーティのために駆けつけてくださった地域の皆様など、多くの方に参加していただきました。久々のダンスパーティは、活気のある、情熱的な時間となりました。



## 芸能発表会 10月1日(日) 10:00~16:00

キタスカまつりでは恒例の芸能発表会が開催されました。今年もたくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

キタスカで練習を重ねているサークルの方々や、個人で芸を継承し、後世に伝えようと日々活動している方、他のお祭りで舞を披露している方々など、多種多様な舞や演芸が、舞台上で披露されていました。合唱やハンドベルなど、今年はいじめてご参加いただいた方々も多くいらっしゃいましたが、どの演目も、積み重ねてきたものが観客にまっすぐ伝わってくるような、素晴らしい演技でした。演技を披露してくださった皆様、そして会場を大いに盛り上げてくださった観客の皆様、ありがとうございました。





# 体育館

## 作品展示



昨年に引き続き、北部小学校の児童の作品も展示させていただきました。手芸や書道、自由研究まで、幅広い作品が集まる展示会となりました。

## 北部地域特産物直売



北部地域で採れた野菜や果物、お米などの作物を始め、加工食品など様々なものが販売されました。

## 喫茶コーナー



昨年はコロナ感染対策予防のため行なわれなかった喫茶コーナーが、今年は営業を再開しました。

## 生涯学習相談



キタスカで行われているサークル活動について紹介していました。ぜひキタスカのサークルで活動してみませんか？



## 健康相談



秋田県立医療療育センターの看護師の方々から、来館された方の血圧測定や健康相談が行われました。

## フリーマーケット



今年のフリーマーケットは体育館で行なわれました。かわいい雑貨から実用品まで、たくさんの品物が販売されました。

# 各部屋・展示ホール

## 軽食コーナー



うどんやカレーライスが販売される軽食コーナーが復活しました。お昼には行列ができるほどの人気ぶりでした。

## お茶会(裏千家)



キタスカの「裏千家茶道水曜サークル」の皆様によるお茶会は、3席ともほぼ満員の大盛況でした。

## 販売コーナー



おにぎりやおはぎといった毎年恒例のものから、「鼎庵」のせんべいなど、様々なものが販売されました。

## キッチンカー出店

(キタスカ正面玄関)



キタスカまつりにキッチンカーが出店されました。お祭りの雰囲気盛り上げてくれる食べ物がずらりと並んでいました。

## フレイル予防講座

～骨健康度測定～



フレイル(体力や気力、認知機能などの衰え)を予防するための講座が開かれ、熱心に先生の講義を受けている方が大勢いらっしゃいました。

## はじめての

## スマートフォン教室



スマートフォンを使用したことがない方を対象に、スマートフォンの使い方についての教室が開催されました。

## 第11回キタスカまつりを

## 振り返って



北部サークル連絡協議会  
会長 佐藤 和夫

令和5年度より、北部サークル連絡協議会の会長の任を承りました、佐藤和夫と申します。この度は、第11回キタスカまつりに足をお運びいただき、ありがとうございました。

キタスカまつりは、秋田市北部市民サービスセンターキタスカ、北部地域住民自治協議会、そして北部サークル連絡協議会の各団体が力を合わせ、サークルの日々の活動や、地域の特産物、そして北部地域に住む児童の頑張りを、より多くの方にご覧いただきたく開催しております。まつりの開催まで多くの困難もありましたが、キタスカまつりに係わってくださった皆様のお力添えにより、大成功を収めることができたと感じております。

改めまして、キタスカまつりにご来場いただきました皆様、ありがとうございました。来年もさらに活気のあるキタスカまつりとなるよう努めて参りますので、北部サークル連絡協議会共々、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



～北部地区～

# ぐるっとまち歩き

## 第7回 上新城

上新城地区振興会  
副会長 三浦 吉壽



上新城地区はその昔、出羽国秋田郡焼岡(たけおか)村の一部として存在していましたが、明治22年に五十丁村ほか周辺7村が合併し、南秋田郡上新城村が結成されました。その後昭和29年10月に秋田市に編入し現在に至っております。地区の面積は52.1km<sup>2</sup>となっており、秋田市全体の約5.7%を占めております。

地区内には数多くの遺跡が点在しておりますが、平成23年3月に閉校した上新城中学校の敷地については、昭和48年に最初の発掘調査が行なわれ、それ以降も順次調査が行なわれた結果、縄文時代晩期の住居跡、墓域、溝跡の存在があったことが判明されております。現在、この場所は秋田市農山村地域活性化センター「さとびあ」が管理運営し、地域活動への貢献や市民への各種講座等多く利用されています。

ここからは「癒しのスポット」として利活用できる、道川にある「大滝山自然公園」についてご紹介いたします(現在は7月14日からの記録的大雨により一部通行止)。公園の場所は土崎方向から車で行くと上新城郵便局隣接の十字路を右折し、そのまま直進すると約5.4km先に公園の管理事務所があります。公園の面積は約109ヘクタールと広大で自然豊かな場所であり、トイレ、水飲み場、緑の広場、東屋、ピクニックエリアなどの施設が完備されております。以前、キャンプファイヤーに参加したことを鮮明に覚えております。特に夏場は大規模ではありませんが小さな滝があり「心や体のリフレッシュ」には最高のスポットとして、報道機関から放映されたことがあります。



大滝山自然公園にある滝(上写真)と東屋(下写真)。静かな時間を送ることができる空間となっている。



昌東院の山門(上写真)と本堂(下写真)。山門の入口には「秋田県三十三観音霊場第十八番札所」の標示がされている。

次に小又にある「昌東院」をご紹介いたします。土崎方向から来ると先ほどの上新城郵便局隣接の十字路を直進し、車で約3.2kmの所にあります。この寺院の正式名称は、臨済宗妙心寺派「日徳山・昌東院」といいます。秋田県三十三観音霊場の第十八番札所にもなっております。これに伴い、全県の各方面から多数の檀信徒や興味のある方々が訪問し、寺院の寺族が対応や説明にあたっております。その昔、寺院は現在の白山集落の奥地(白山字朝日台)に「長坂千軒屋敷」として鉾山(銀山)が繁栄していた頃は、その集落内にありましたが、鉾山の衰退とともに約300年前に現在の小又字行人沢に移転しました。寺族は毎年の恒例行事となっている、飯島南小学校の生徒を対象とした「いのちの学習」では、講話や座禅体験、呈茶などを実施しており、生徒や教職員からは好評を得ていると伺っております。このほかにも地域住民との交流を深めるため、季節ごとに各種行事を企画・立案し、地域貢献に寄与しています。副住職は年数回、京都にある大本山妙心寺や花園会館などに足を運び、各種会合に出席しサポートをしております。また、女性では珍しくおてらの情報誌であります「ら・て」の実行委員会のメンバーの一員として、奮闘されております。境内には石庭が施されて

おり、山の斜面には北限とされている「藪つばき」が350本以上咲き誇り、秋には紅葉が楽しめるスポットとなっております。事前に問い合わせ等の連絡をいただければ、誠心誠意対応しますと話しています。

以上のとおり、今回は2件しかご紹介できませんでした。これ以外にもご紹介したいところはあるのですが、誌面のスペースの関係から割愛させていただきます。関心のある方は、ぜひ上新城に足を運んでみてはいかがでしょうか。